

2 研究I 児童自立支援施設内チームサポート

2.1 キャリアガイダンスプログラムの概要

2.1.1 研究目的

研究Iでは、大学と児童自立支援施設が連携・協力し、生徒に対してキャリアガイダンスプログラムを実施し、社会的な自立支援を行うものである。キャリアガイダンスプログラムとしては、以下の2つがある。

- (1) 自己や将来を見つめるキャリア教育授業による生き方や進路に関する関心・意欲の高揚

他者の生き方を「知る」ことから、「深く考える」ことによって、自分自身の生き方に目を向け、将来への進路達成への関心や意欲を高める。

- (2) 表現力や社会性を高めるキャリア教育授業による社会性の向上

全員参加による表現力活動を通して、社会生活の基礎となる表現力や社会性を高める。

2.1.2 研究対象及び方法

研究対象は、A県の市部にある分校型の自立支援施設の中学生を対象に、キャリア教育に関する授業を行った。具体的には、以下の通りである。

- (1) 多様な生き方から自己や将来を見つめるキャリア教育授業

- 1) 進路への関心・意欲を高めるために、生き方の異なる6人の人生⁷について個人的ならびに小集団で考察し、意見交換を行うキャリア教育授業を2時間連続授業で実施する。

- 2) 授業のねらいや教材ならびに生徒数や実態から、中学生1年～3年生の合同による授業で行う。なお、小学生5名に対しては、中学生の授業時間中にスポーツを行った。(スポーツ教育実践)

- (2) 表現力や社会性を高めるキャリア教育授業

- 1) 集団活動の中で、積極的に自己を表現できるようにするため、生徒の興味や日頃の授業を勘案し、ミニ音楽会を開催する。

- 2) 生徒は日頃の音楽の授業等でギターに習熟しているとのことであつたので、ギター演奏を交えた音楽会を小学生・中学生の同時参加による授業を行う。

⁷ 富士盛公年(1999)の授業(國分康孝・片野智治・岡田弘・加勇田修士・吉田隆江編『エンカウンターで学校が変わる 高等学校編』図書文化)を、兵庫教育大学大学院生徒指導講座・高等学校教諭の佐々木豊氏が児童自立支援施設生徒用に部分的に改変し、授業を実施した。

2.2 研究結果

2.2.1 自己や将来を見つめるキャリア教育授業の展開

自己や将来を見つめるキャリア教育授業の展開例は、Table2～Table4の通りである。以下、自己と将来を見つめるキャリア教育授業を、キャリア教育授業と略記する。

Table 2 キャリア教育の授業展開過程

展開	段階	生徒の活動	教師の指導	留意点
導入	1	「6人の人生」のワークシートを受け取り、氏名を記入し、「●授業のねらい」を記入しねらいを理解する。	事前準備している「6人の人生」のワークシートを配布し、本時のねらいについて説明を行う。6人の人々の生き方から、自分や友達と生き方について考えることを理解させる。	「6人の人生」のワークシートの準備と説明用のプレゼンテーションの提示。
展開	2	(1) プレゼンテーションを見ながら、「6人の人生」のそれぞれのプロフィールについて理解する。 ([1] 考えてみよう。) ⇒(2)6人の中で、自分が好きな生き方をしていると思う順に名前を記入する。⇒(3)順位づけした理由を自由に記述する。	(1) 「6人の人生」のそれぞれのプロフィールについて、生徒に音読させ、プレゼンテーションを説明をする。⇒(2)6人の中で、自分が共鳴できる生き方をしている人物を順番にワークシートに記入する。教師の指示に従って、一斉に記入を行う。⇒(3)順位づけした理由を自由記述欄に記入させる。	6人の人生のプレゼンテーションとワークシートのPDFファイルを準備。

Table 3 キャリア教育の授業展開過程（続き1）

展開	段階	生徒の活動	教師の指導	留意点
展開	3	(1) 展開2の結果について、隣の友達を話し合う。([2]話し合ってみよう) ⇒(2)疑問に思うことは質問し合う。	(1) 展開2の結果について、隣の友達を話し合うことを指示する。⇒(2)説明が不足していることや疑問に思うことは遠慮なく質問し合うよう指示する。	机間巡視を行い、ワークシートに適切に記入がされているか確認する。
	4	(1) 展開3の説明をうけて、「6人の人生」の順位を見て、自分の意見を整理する。([3]整理してみよう) ⇒(2)それぞれの人生から、生き方に関する質問項目について、賛成・反対を選択し、その理由を記入する。⇒(3)観点は、女性の社会進出・仕事と家庭の優先度・結婚観・子供観。	(1) ワークシートの4つの選択肢について、賛成・反対のいずれかを選択させる。⇒(2)それぞれについて、その理由について具体的に理由を記述させる。	ワークシートで個人作業を行う。
	5	(1) 4~5名の小グループを編成する。⇒(2)グループで、展開4について自分の意見に対する感想を友達に聞いて、内容を記入する。([4]メッセージ) ⇒ 友達の意見を聞いて、今の自分の気持ちを記入する。([5]みんなの意見を聞いてみよう)	(1) 小グループを編成して、展開4についてお互いに意見交換をし、内容を記入させる。⇒(2)友達に意見を聞いて、自分の気持ちを記入させる。	グループ編成は、学年ごと・男女別に行う。

Table 4 キャリア教育の授業展開過程（続き 2）

展開	段階	生徒の活動	教師の指導	留意点
終末	7	グループごとに話し合いの結果を発表する。	グループ別に話し合いの結果を発表させる。	
	8	定時制弁論大会のビデオを視聴し、多様な生き方に興味をもたせる。	生き方への関心を持たせるために、定時制弁論大会においてホストの仕事を紹介したビデオを視聴させる。	定時制弁論大会全国大会版のビデオの準備
	9	授業に関する生徒評価を行う。（ <input type="checkbox"/> この授業の評価 <input type="checkbox"/> 授業についての感想を教えてください）	授業のまとめを行い、授業評価を回収する。	

2.2.2 キャリア教育授業の配布資料・逐語録等

キャリア教育授業で生徒に配布したワークシート・プレゼンテーション用スライド・授業逐語録・授業の様子は、以下の通りである。ワークシートやプレゼンテーションについては、大学側で事前に授業リハーサルを行い、児童自立支援施設教師のアドバイスを受けながら、生徒の発達段階や学力等を考慮して作成し直している。

- (1) キャリア教育授業で配布したワークシートは、Fig.2～Fig.5の通りである。ワークシートは、授業展開とマッチングされており、授業のねらい、各展開過程ごとの個人及び小集団で行う考察点や話し合い・感想等を記入する自由記述欄、授業評価欄から構成されている。
- (2) 授業中に生徒に提示するプレゼンテーションは、Fig.6～Fig.11の通りである。Microsoft社製のPowerPointを使用して作成されている。授業中はノートパソコンと液晶プロジェクタを連結し、プレゼンテーションを行っている。授業は、視聴覚教室という30名程度の収容力のある広い教室で行う。
- (3) 授業逐語録は、2.2.5の通りである。逐語録のTは大学側の教師の発問・指示等を示し、S_AからS_Jは発言や音読した生徒を示している。なお、授業のビデオ記録については、事前に児童自立支援施設側に申し入れをし、了解を得ている。
- (4) 中学生のキャリア教育授業の様子は、Fig.12～Fig.13の通りである。また、小学生のスポーツ教育授業の様子は、Fig.14～Fig.15の通りである。

2.2.3 キャリア教育授業のワークシート

ワークシート

6人の人生 ()年 氏名()
●授業のねらい⇒
1 考えてみよう。 6人の中で、あなたが好きな生き方をしていると思う順に名前を書いて下さい。 1位 () 2位 () 3位 () 4位 () 5位 () 6位 () このような順番にした理由は？
2 話し合ってみよう。 上の結果と理由について、となりの人と話し合ってみよう。
3 整理しよう。 「6人の人生」の順位を見て、自分の意見を整理しよう。 (1) 私は、女性が社会で働くことに、(賛成 ・ 反対)である。 その理由は？

Fig. 2 キャリア教育授業ワークシート

(2) 私は、仕事と家庭のうち、(仕事 ・ 家庭)を優先する。

その理由は？

(3) 私は、将来(結婚する ・ 結婚しない)ほうが良いと考えている。

その理由は？

(4) 私は、将来子供を(持ちたい ・ 持ちたくない)と考えている。

その理由は？

4 メッセージ

あなたの意見について、みんなの感想・意見を書いてもらおう。

()より

Fig. 3 キャリア教育授業ワークシート (続き1)

() より

() より

5 みんなの意見を聞いてみよう。

周りの人の意見を聞いて、今の自分の気持ちを書こう。

自分の気持ち

6 この授業の評価

Q1 この授業は、おもしろかったですか？

- ひじょうにおもしろかった。
- まあまあおもしろかった。
- ふつうだった。
- あまりおもしろくなかった。
- おもしろくなかった。

Fig. 4 キャリア教育授業ワークシート（続き2）

Q2 この授業は、わかりやすかったですか？

- ひじょうにわかりやすかった。
- まあまあわかりやすかった。
- ふつうだった。
- あまりわからなかった。
- わからなかった。

7 授業についての感想を教えてください。

この授業のよいところ

この授業のよくないところ

この授業で感じたこと

Fig. 5 キャリア教育授業ワークシート (続き 3)

2.2.4 キャリア教育授業のプレゼンテーション



Fig. 6 6人の人生 (Slide1)



● 授業のねらい ●

さまざまな人たちの生き方を知り
自分の生き方の参考にする。

- これから紹介する6人の人たちは、いずれも35歳前後の人たちです。
- それぞれの人の生き方を見て、あなたが好きだと思ふ順番を考えてください。

Fig. 7 6人の人生 (Slide2)

1

考えてみよう

- あなたが、好きだと思ふ生き方の順に、第1位から第6位を決めて下さい。
- 自分が、そういう生き方をするかどうかに関係なく、あくまで、好きだと思ふ順です。
- 従って、男子が女性を上位に選んでも、女子が男性を上位に選んでも、かまいません。
- 順番が決まったら、そういう順番にした理由を考えてください。

Fig. 8 6人の人生 (Slide3)

2

話し合ってみよう

- とおりの人に自分の決めた順番とその理由を話してみてください。
- 向かって右側の人から先に話してください。
- 時間があまった時は、聞き手から質問をしてみてください。

Fig. 9 6人の人生 (Slide4)

3

意見を整理しよう

- 各自で、ワークシートの3を記入してください。
- 理由については書ける範囲でかまいません。
- 早くできたら、となりの人と見せ合い、意見を交流してみてください。
- 4人一組になり、一人ずつ意見を言ってから、グループの順位を決めてください。
- 最後に話し合った内容を全体場で、簡単に発表してもらいます。

Fig. 10 6人の人生 (Slide5)

6人の人生

●スライド終了

Fig. 11 6人の人生 (Slide6)

2.2.5 キャリア教育授業の逐語録

T: こんにちは、みなさん。

私は、兵庫県で高校教師をしています。高校では、進路指導を担当していましたが、高校生でも、自分の将来についてなかなか真剣に考えてくれません。

そこで、今日はみなさんにも、自分の将来について少しでもイメージしてもらうための授業を考えました。短い時間ですがよろしくお願いします。

T: では、筆記用具を出してください。

鉛筆とか消しゴムとか持ってきていますか。

それから、今日は、プリントで授業をしますので、後に回してもらおうかな。まず皆さん、名前を書いてもらえますか。

T: では、今日の授業のねらいを確認しましょう。

「さまざまな人々の生き方を知り、自分の生き方の参考にする。」という目標です。

T: プリントの名前の欄の下の所に書き込んでください。

皆さんのお父さんお母さん、それ以外にもたくさんの人たちが、さまざまな生き方をしていらっしゃると思います。

そういう人たちの生き方を見て、「こういうところは真似したいな」とか、逆に「こういうところはいやだな」とか、感じることはないですか。

自分の将来を考える上でとても大事なことなんですよ。今日は、これから架空の人物ではありますが、6人の人物を紹介します。

T: プリントの 1 考えてみよう の所を見てください。

これから紹介する6人の人たちは、だいたい年齢設定35歳くらい。みなさんは今15歳くらいかな。自分にしてみたらあと20年後ぐらいにどうなっているかなということを重ね合わせて見てください。

自分がそうなるとか、ならないではなく、「この人の生き方がいいな」と思う順に、1番から6番までを決めてください。

T: はいそれじゃ、一人目、マリ子さん。

女の人なので、女の子に読んでもらおうかな。S_Aさん読んでくれる?

S_A: プリントの「マリ子さんの人生」を音読

T: はいありがとう。

マリ子さんはとても仕事ができる、いわゆるキャリア・ウーマンですね。

T: それでは次、アキオさんの人生のところ、 S_B 君、読んでくれる?

S_B : (プリントの「アキオさんの人生」を音読)

T: はい、ありがとう。

アキオさんは結構遊び人って感じですね。

では次、そのとなりの S_C 君、ヨシオさんのところを読んでくれますか。

S_C : (プリントの「ヨシオさんの人生」を音読)

T: はいありがとう。

一昔前は、こんなお父さんいっぱいいたような気がしますけれども。

では次、タカオさん。そのうしろの S_D 君いこうかな。

S_D : (プリントの「タカオさんの人生」を音読)

T: はい、ありがとう。

ペンションってわかるかな。ホテルみたいな、旅館みたいな、洋風の旅館のことですね。

じゃあ次、ミホ子さんのところを、再び女子の方について、 S_E さんよろしく。

S_E : (「ミホ子さんの人生」を音読)

T: はい、ありがとう。

ミホ子さんは駅前のパン屋さんの店長なんですね。じゃあ次、最後のルミ子さんのところ、その後ろの S_F さんお願いします。

S_F : (「ルミ子の人生」を音読)

T: はいありがとう。

ルミ子さんは専業主婦です。仕事を持たないで家事に専念している女性ですね。

T: 少し時間を取ります。

もう一回プリントをよく見て、自分が好きだなあと思う生き方の順に、1位から6位を決めてください。男子が女性を、女子が男性を選んでかまいませんよ。

T: (机間指導)

あ、早くできた人は、理由も考えてください。どうしてそういう順番にしたのか書いてください。

T: どうか、みんな理由くらいまで書けたかな。

全員じゃなくても1番の人はこういうところが気に入ったとか、6番の人は、こういうところがいやとか、そういうことでいいですよ。ただし、「顔」はなしですよ。プリントの絵を見て、「顔が気に入ったから。」なんていうのはダメですからね。

T: はいそれじゃあ、前を向いて。

もうみんなすでにやってることやと思いますが、隣りの人とか、周りの人と、自分の決めた順位について話し合いをしてみてください。「自分はどういう順番に決めた」ということと、「どういう理由でこう決めた」ということをお互いに話し合ってみてください。ここは、2人で、…… 後ろは3人で、……

T: どうですか、自分の順番が周りの人にわかってもらえましたか。

こうやって人に聞いてもらうだけで、少し自分の考えがはっきりしたり、まとまったりするものですね。

T: 今度は、プリントの 3 整理してみよう を見て下さい。

相談しないで、各自でやってください。

1番「私は女性が社会に出て働くことに賛成である。または反対である。」賛成・反対のどちらか一方に○をつけてみてください。

○がついた人は、その理由も考えて下の欄に書いてください。

T: 1番ができた人は2番をやってください。

「私は仕事と家庭のうちでは、仕事、または家庭を優先する。」というやつです。自分が優先する方に○をつけてみてください。これも、できれば、理由を考えて書いてみよう。

2番ができた人は、3番、自分が将来結婚したいと考えているか。4番、自分が将来子供を持ちたいと考えているか。どんどんやっていってかまいませんよ。

(5分後)

T: はい、静かに、4番までいったかな。

選ぶだけは選んで、理由は無理やったらいいから。自分の生き方に対する考え・意見がはっきりしてきたところで、今度は4人一組になって、そのグループでの6人の人生の順位を決めてもらおうと思います。

みんな、それぞれにいろんな意見を持っていると思うけれども、お互い話をして、理由を聞き合い、自分が間違っていると思うところを直して、4人グループとしてのベストの順位を決めてほしいと思います。

結果は後で、全体の場で発表してもらいます。では、ここ4人で1班、となりの女子は、4人で1班、後ろは5人で1班、そのとなりは4人では向かい合っ
て、始めてください。

T: (机間指導)

それから、班の結果を発表してもらいますから、発表者を班で1人決めてくだ
さい。

(10分後)

T: そろそろ決まりましたか。

どうしても班でまとまらないところは、どういう意見が対立したかをいって
もらえばいいですから。

T: では、発表してもらいましょう。どこからいこうか。

(右後ろの班から名乗り出る)

じゃあお願いしましょう。まず順位から、 S_G 君お願いします。

S_G : 1番が、タカオさん、2番がルミ子さん、3番アキオさん、4番ヨシオさん、5番
ミホ子さん、6番、マリ子さん。

T: 理由いえるかな?

S_G : 子どもより先に親が死ぬので、子どもはこれからだから。

1人で暮らしていたら、寂しいし、(結婚したいのは、)1人で働くより、2人
で働く方が安定した生活ができるからです。(子どもを持ちたいのは、)子供
を作って、子どもの成長を見てみたいから。

T: はいありがとう。

非常にしっかり考えてくれましたね。ありがとう。拍手。

(拍手)

S_G 君の班は、タカオさんが1番で、最後マリ子さんだったかな。家庭重視の
班ですね。

T: みんなそう?だいたいまとまった?

T: それじゃあ今度は、後ろの左の班、 S_H 君が発表してくれる?

S_H : 1番が、マリ子さんで、2番がヨシオさん。3番がタカオさんで、4番がミホ子
さんで、5番がルミ子さんで、6番がアキオさん。

T: はい、だいぶさっきと順位が違うね。

で、理由はどう?

S_H: 理由は、仕事ができるから。

T: 仕事ができる順?アアなるほどね。

さっきは、家庭重視の意見が多かったけど、今度は仕事ができる人がいいなあっていう班やったね。隣同士でも全然違いますね。

はいありがとうございます。じゃあ、拍手。

(拍手)

T: さあ次は、女の子の班いってみよう。

さあこれは大事ですよ、女の子がどんな風に考えるか、男子はよく聞いておいてくださいよ。

S_Iさんお願いします。

S_I: 1番がルミ子さん、2番がタカオさん、3番がマリ子さん、4番がアキオさん、5番がミホ子さん、6番がヨシオさん。

T: はい、ルミ子さんが1番、タカオさんが2番なんですね。その理由は?

S_I: マリ子さんは、お金があるけど、結婚していない。

ルミ子さんが一番幸せそうだから。ルミ子さんは、結婚して子どもに振り回されて、大変そうだけど、一番幸せそうに見えた。

T: どうですか、男子、そういう風に見えましたか?

はい、貴重な意見ありがとうございます。

(拍手)

T: じゃあ最後、S_J君の班、どうでしたか?

S_J: マリ子さんが1番、ヨシオさんが2番、ミホ子さんが3番。

タカオさんが4番、アキオさんが5番、ルミ子さんが6番。

T: なんか、さっきの女子の班と、1位と6位が逆やね。

ルミ子さんが6番にきてますね。

T: マリ子さんを1位に選んだのは?

S_J: 仕事ができるから。

T: なるほど、仕事重視がこの班と後ろの左の班。

家庭重視が、後ろの右の班と女子の班でしたね。

T: この授業は、道徳の授業とかじゃなくて、正しい答えなんてありません。

みなさんが、自分の価値観にもとづいて、自分がこういうふうに生きたいなっ
ていうことを大切にして、自分の人生を考えてもらうための材料にしてくだ
さい。

その際、お互いみんなどうしているかを考えてるんやろうということを交流しな
がら、考えてみてほしいと思います。

T: 今日の授業は、そのためのきっかけになってくれたらと思います。

長い時間お疲れ様でした。最後に授業の感想を書いて出してください。

(この後5分休憩後、生活体験発表のビデオを鑑賞し終了)